WA 7
205
4

国立国会図書館　タイトル『大鏡 6巻』 請求記号 WA7-205

ガラス使用

60. 2. 28
84WG2566

国立国会図書館　タイトル『大鏡 6巻』 請求記号 WA7-205

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『大鏡 6巻』 請求記号 WA7-205

ガラス使用

中園白
一
円大臣道隆

栗田関白
右大臣道兼

東三条殿息

一円大臣道隆正慶六年二月日依病辞関白四月六日薨卅十二

一男也御母ハ女院乃同腹也関白みなりさうひて六年許もおはしまして疫癘の年めてう秋さる秋后うつうされとるそのはやまひよはめてゐ給ひたまふ秋給みれ崇れ事ことにハよ戸ひとりをそそくさや祭のうへさ御らんすとて小一条大将家院大将と一所車ゐて葉野ふおさ秋后鳶れひいねるかるをうめこりてせおて興あるものよおかしてとまてあす今月もそ迄めてたいうするりてそや

さまざまにおもひくすきさまざまに
坂八幡車乃ちからもちからすたれみるあけて三番
あるうちはもとよりまゐるおもしろきまゐりくる
いとくるしくうれおかしくこれ大ねん
敵討の条ゐんくわ等ありてをかしくは猶事おほかりきりをのもおかし
えもいはぬ装束をうち出したる車どもよせ立
人よりくまゐりをそいと興ある事よせさ
せ給ふ位こそ碎のかとうりはとくさむなこと
とぞそせうの後ろ猶日八社頃ふくる三条
の門前ぬかり泥ひざまでつきてかへるうちよう
乃門前ぬかり泥頭神をもみえて大かりけをそ

さまざまにおもひくすきさまざまに
坂八幡車乃ちからもちからすたれみるあけて三番
あるうちはもとよりまゐるおもしろきまゐりくる
いとくるしくうれおかしくこれ大ねん
敵討の条ゐんくわ等ありてをかしくは猶事おほかりきりをのもおかし
えもいはぬ装束をうち出したる車どもよせ立
人よりくまゐりをそいと興ある事よせさ
せ給ふ位こそ碎のかとうりはとくさむなこと
とぞそせうの後ろ猶日八社頃ふくる三条
の門前ぬかり泥ひざまでつきてかへるうちよう
乃門前ぬかり泥頭神をもみえて大かりけをそ

さまざまにおもひくすきさまざまに
坂八幡車乃ちからもちからすたれみるあけて三番
あるうちはもとよりまゐるおもしろきまゐりくる
いとくるしくうれおかしくこれ大ねん
敵討の条ゐんくわ等ありてをかしくは猶事おほかりきりをのもおかし
えもいはぬ装束をうち出したる車どもよせ立
人よりくまゐりをそいと興ある事よせさ
せ給ふ位こそ碎のかとうりはとくさむなこと
とぞそせうの後ろ猶日八社頃ふくる三条
の門前ぬかり泥ひざまでつきてかへるうちよう
乃門前ぬかり泥頭神をもみえて大かりけをそ

さまざまにおもひくすきさまざまに
坂八幡車乃ちからもちからすたれみるあけて三番
あるうちはもとよりまゐるおもしろきまゐりくる
いとくるしくうれおかしくこれ大ねん
敵討の条ゐんくわ等ありてをかしくは猶事おほかりきりをのもおかし
えもいはぬ装束をうち出したる車どもよせ立
人よりくまゐりをそいと興ある事よせさ
せ給ふ位こそ碎のかとうりはとくさむなこと
とぞそせうの後ろ猶日八社頃ふくる三条
の門前ぬかり泥ひざまでつきてかへるうちよう
乃門前ぬかり泥頭神をもみえて大かりけをそ

さまざまにおもひくすきさまざまに
坂八幡車乃ちからもちからすたれみるあけて三番
あるうちはもとよりまゐるおもしろきまゐりくる
いとくるしくうれおかしくこれ大ねん
敵討の条ゐんくわ等ありてをかしくは猶事おほかりきりをのもおかし
えもいはぬ装束をうち出したる車どもよせ立
人よりくまゐりをそいと興ある事よせさ
せ給ふ位こそ碎のかとうりはとくさむなこと
とぞそせうの後ろ猶日八社頃ふくる三条
の門前ぬかり泥ひざまでつきてかへるうちよう
乃門前ぬかり泥頭神をもみえて大かりけをそ

さまざまにおもひくすきさまざまに
坂八幡車乃ちからもちからすたれみるあけて三番
あるうちはもとよりまゐるおもしろきまゐりくる
いとくるしくうれおかしくこれ大ねん
敵討の条ゐんくわ等ありてをかしくは猶事おほかりきりをのもおかし
えもいはぬ装束をうち出したる車どもよせ立
人よりくまゐりをそいと興ある事よせさ
せ給ふ位こそ碎のかとうりはとくさむなこと
とぞそせうの後ろ猶日八社頃ふくる三条
の門前ぬかり泥ひざまでつきてかへるうちよう
乃門前ぬかり泥頭神をもみえて大かりけをそ

国立国会図書館　タイトル『大鏡 6巻』 請求記号 WA7-205
ガラス使用

なとせう物語へとおとろきおの
れ稽古をあらうふ剃
どろうせおてさるれ用さハあ
れ梯うがいかく〳〵物へ
ばくろいかどしてをさ
げなくさよげよおそう
なん人い其教ハ牡さあがば
れ殿のれよ戸ハよくおそう
乃な我れそりゆくを忘ハさ
付てうせおもれ時西ふか紀
念佛ゃう物へとくのそ
時的充なともや極楽よハあ
らんをらんと祈

をれおうあそれ的通常ふはく
たるる的まそ何乃比獄のう
ら打あてく三宝乃ハ名思お
もとおろうやハ真乃いとけそ
そ屋捕殿ふ天下猟的宣旨く
よくよ氏アつ殿のて弁ますて
あいたうせかてハ製来もえ奉
亜衣ゆてハ廉のとにおさう
長押とおうるらう物おて
うこのやうまつをさ物
なりし事人乃ひとさそ
もと屋くはるへさをな候い

国立国会図書館　タイトル『大鏡 6巻』 請求記号 WA7-205

ガラス使用

みれと後一ともと病付てもう良いはへ
うろれとなんみしと
よりおふ前を用白ハ服しく男子女あま
たおりて海上今小方ハ大和ちる階成忠乃ぬ
一のれ女のり後乃せハ
もろさて積善ちの供養自これ入道夏乃うみよ
伯土ハともめけろうなりろ三りさうおそのろ
に男君と京女君四京おろ海き大将君ハ一
条院の十一ふくれ元服せ後小十五ろて
やりうせ給きんやうてその六月一月
よ后みめう後中文とりけさて用白夏なとう
せ給せ給て後りおとこ一人ふみこ二人

う只奉ら後給人ときさ女文ハ入乃夏の一品文と
て三条ておりまして女二文ハ九条ふてう給
う後給ふ文男親王式戸ひ乃文教康親王とあう
りろ多びくに思ふひて世乃中なれり
おきさてう世給きれ年廿九ふてあさまう
てや海給ふりお冷泉院乃文遊なとの夏う
ふ持くおりまさまかうとさもよ給
ろうやちの人遇ひさ海ひうさ
くれむくともめてうおまこ
てこ乃文乃ハ母后の男中乃ハ方ハ三条院の系
文とりおり乃滝業舎とそうふやう包給ひ志
を文殿うせ給ひふひて御年廿二許ふてう

みれど殊ニ[illegible]と病付て志もう良いはへ
うろれとなんみしくとまう戻アて殿ハ帯
よりおふ旬迄も用向ハ脇しくお男子女子あま
たおりて御しき今小方ハ大ぬちる階成忠乃ぬ
しのは女のり後乃せハ当二位とちういの仏
ちさて積善ちの供養自これ入道乃うみ
仏志ハてとめけうなり三ハりさうかちのちう
に男君と承女君ハ承おちくおしき大姫君ハ一
条院の十一
やうりうや
よ后おめさ
せ給せ給て

九条すれうせうく
帯ハ女の後ニ

う足奉ら御
て三条ア
う秋給ふお
ア[illegible]ちう毎び
おきさてう世給よされ年女カ
てや内御給めりう冷泉院乃交遊なとの面う
ふ御くおりまさまかそいとさもよ給
ふうやちの人遇ひさ御はオひとうし志
くれむちんもいとめてくさまふれちまふさ
てこ乃文乃ハ母后の男中乃仏方ハ三条院の東
文とア志おりう乃滝堂舎とそちあやう也給ひふ
を父殿うせ給ひふおそ御毎女二許あてう
乃夜の一品文と
ハ九条あてう給
教康親王とあう
世乃中なれり
九あてあさまう

国立国会図書館　タイトル『大鏡 6巻』 請求記号 WA7-205
ガラス使用　挟み込み物

せう後侯はき三れ御方ハ冷泉院のんこ姉文と
ア志をもうハ父在心こなと
るをを後くくハやうて御中たえみかくす
濃ルよし一条まうりおいとあやうくておりす
御とそきこえ給ー御ふとまやはむくん
くのおとをちおすおうくれハかるたハ
文もうと兄宮し給くをうとくやそ宮人ゆと
れまのりをるををとハ御麓をいとたうやうまと
ーやをくれ梅ともろとれむろけてをちおへを
くれハ文ハれ面うちあう御ーてんおそなんおそ御
き御作人も面乃文たうよの
ふんをくんもうーなよすらかうきう文乃ち

よハ兄うんをたをまくふうこさも也られそ
もの乃うおりえさるとちうれ衣作られ又学生
ともめーあのめて作文ーあうそ後給ひうふ
ま金弐二三十面許屏風のうみうかけうさ三
て人てうち給れハ面すみうとと
と衣思れとその在めて後ーてうあ
らそひをり金給りをろハけ也ともさをみ
うれーうりーもれうおとするみうよあ
御女也くくみ作て海ーあとするみうよあ
ーやたう座うふをを給ふをも有うこ信れ
新發乃給流母てこれ御そうハ(御も)みふさひのおく
志ます也る也母上ハ高門作そうれと殿上

国立国会図書館　タイトル『大鏡 6巻』 請求記号 WA7-205
ガラス使用

しられさうらかくも仰事前参ふとふ南面よ
て衣参一それハ御ふとよきえ者みてれおれ
作文まいみ参てまつらハとよおくの
をのこよハ御さうてあうきえ仰うさやう
乃れう有名をれ参を大盤面れかく
えて弘徽殿乃よ仰壺称れかくさうとうりて二
間よなん仰給ふ古称みるや
女のあまりさえうこさハえの恩と人れや
御ふ仏間仰後よハいとりみ
一まそのけとう笑え仰
う魚のさつみれ乃仰本ハ御逢参とよれ
良いとうりうて或アつ乃文乃母代みくれ

うし御ふくもとうう秋仰
ちかくなり村の方とまし秋
もお売おうまを御ハ今乃皇后文もうハ仰お
まえも学ぶ一男君逢ハ
乃ぬれ女のそう参てう
父おとく乃御名て志参てう
云郎君とお参ハ申ふう大納言ゆくあり仰人里
き父れ閑白参うせ仰ひ一年乃六月十一日よ
うち仰くきう仰よきれ年仕五とそゆそう秋
仰動ハ仰良いとさよぎふ御まりおたらきさ
御てお仰うぬけお参るやうよそおふ秋一
仰ふ後で人ふうふとけりうう母もよ仰ハぬ

国立国会図書館　タイトル『大鏡 6巻』 請求記号 WA7-205

ガラス使用

のやうにみされをかくくをれそ殿しこれ殿
ハもとよりおりの皇后文と同腹の君法師み
て十余乃かとに僧ゐおりし奉りて給ふ人
と三十六ゐくう世ゐまうさ今一ゐハみ子君と
て嫁かうもうの大ふよ君小ハこよりくゐこ
一ゐおそ殿一時みハ大臣よなし奉り
ゐて我う世ゐ一年長徳元年の事也ハ病ゐ
くおうさハま関参ゐておりし給ふ乃ま
ていかと計ハ大臣伊周のおとゐは百官歎天下
猟約乃宣旨ゐくさよりくだされ行て我が
お家せそ殿ゐて志うと計ハ大臣を関白奉と
てられんまりよりし初ま栗田殿ゐ

もうみうこそまてゐ
らんやうにてみけうせゐ
事小れりしだまし
おうもゐのおとくそて
入道殿その年の五月十一日
去めそくうと給ふいと
志初よみ乃年花山院乃ハ
とら迫て兵籙業の指帥み
次ハ日ふよういくだり給
うくうあれみかりう
とぎおかなずかやうの
うされ給えしもあうをよう

国立国会図書館　タイトル『大鏡 6巻』 請求記号 WA7-205
ガラス使用

おぐいとらせ梅ぢ人よ伯
川みゐをあるゝ称とも・ぎぐ
梅ろまひぜせう物伯ろすい
事れとろ海まへき事か
殿えたけみ向いうせ物へ
うり役ゐき事あれ
もこととうれさ梅伯かて
せ伯よ投友もかく海事
ト物えいとかこうりてく
ヲとてあれへきゐう称ハ
物ることなとせさ梅伯ふ
伯へ伯ゐ向ゐ氣多乃志向ゐ物
ひとをくをおがさ称て
まのらでいとはうくこそ
て饗云乃拝をれこと也給
みて伯へを殿ををゞめな
くれよなん足たくまのヲさ
をきうせ伯ひけ通ど、入乃
称くら海と伯な性ゐて人のさ称ゐよらん事
をハをしうゐかけ
これ伯ゝくやうハうちたら
とろおゐうしたふおあ
事暁まくおそゞすむ
役ゐき事もうゐぐくれ

国立国会図書館　タイトル『大鏡 6巻』 請求記号 WA7-205
ガラス使用

ゐぐり給事もおほくなどぐわがえ事などみたてまつらせんとて僧名と衆(しゅ)をあつめ道雅の君を供養して入道殿にやがて参りたまひけて人をまゐらせ給ふ秘法は初(はじ)めんとをぢ給ふ御法は初(はじ)めんとをぢ給ふ御てら新人(にゐんど)ゐんはねをぢ給ふ御ふ便(びん)なる事ぞ(こと)ありける御志(こころざし)ありおやうおぼしたるぞのやうにてありたいくまさる事もあるか、おどろかせたまひてをめきたるてまどくうくとそ秘

ゐぐり給ふ事ども、御志(こころざし)ありおやうおぼしたるぞのやうにてありたいくまさる事もあるか、おどろかせたまひてをめきたるてまどくうくとそ秘(ひ)殿(でん)ゐんより御寺(みてら)へ御幸(みゆき)なりぬれば、御(おん)ものの怪(け)ども、さわぎ給(たま)ふ事(こと)限(かぎ)りなし。

ふなよう阿国樂(アヤリ)ぬうい奉らせ給ひ
がそれとよれまい人の物をよくなりよる
みやありくありまして物かとやしかと元方大
納言乃やうふやいきこえ後給ふなく入道殿
なぬをぐまさ殿給へ内藏のいみしきは物(ゐ)
めりたいけなるすいもぞしか給と
第一(ていち)ぎらてこれ初いうちけくめく源大納言
重光乃女のりまいなる二所男君三所おく後
一うこれ君うちみおおとなひ給ひてあ光ハ
后ぐ称とかつぐ奉(まつ)給よう海くおぼ
ちく事ともたびひてうくぬ病うへ給里給
ひみうれバ此姫君遣を清めべてかくく乃

給ひし年来佛神よりみしくぬうまう
つまでなよ事もさうとうたり給ひ
まどかくいふひきまおたへんちとの
うおーさかくまうまかから君ちをう我
うもうれこうぬ給ひ(孫と)ぬいりおりへうり
れをの遣三のびりうなるねうまひありさ海
をう給りんすらんとそくく人まうれ
てなうぎ事といひ(ひ)けてのの世給ふ
お面きあうう海をりくなたりの
ともうみやうんとぞ母小方ありくく
遣云ぬ給ひをうおう君遣大姫君ハ右松殿北
云大まあの小方みてあまうの君うみひ

国立国会図書館　タイトル『大鏡 6巻』 請求記号 WA7-205
ガラス使用

まてれり後ろとそれハあ
す今一ハ大変みまのりて
いとやむおもくてひ給
けぬハありさ海なめ連
君ハ松君とそむき連給
きものよれがむうへ
おとふたうもの乃をせう
一給ひえそかうれ
をろハこれ君をえれと
よたあれまごさわぎ世ず
とてもの乃りえぬ名簡う
ねせてやさあり三
ひりけてせうんか世中
さくおあすぐりと
きろ。式君面代九条みそ
乃命なり給ひてひとめ
はりしやとえ春文亮通雅君とそいとおかえ
おくうきうそ連をいかくおくせ
給教一后よ院人乃もの
ふ三位そうう志給ひて中納言
なりみありいとうりしまそうあ
さおくおもひかぬ事ともうかけ君ね姉殿
中細言雅仲乃おとうすんおて男一人う内府
給人ハ法師おて明曾面乃北房よう

乳母も饗應

国立国会図書館　タイトル『大鏡 6巻』 請求記号 WA7-205

ガラス使用

れ久すめ遣女天いわ〳〵遣ひきんみそうふ
そ（逃）げて今乃皇后文よこうまりて大和宣首
とそ（ツカハシ）給ふ遣さられく年来はめ妻よとやいたのむ
ぢうきれ中〳〵そ遣志そあかづりてれ
出が御〳〵くそ時くれあそれ物されぬ童歌に
れさやうま給うまかそ白髪うみをうそく白
早をかさ花と給皇か御ちき人とやも乃
いめみ〳〵うなのありくれハとそまくも志
給はぬふうあめ遣されハ投表志遣え給人
うハたまおハ給ふ表者とけこれ間れむと
遣こ変給人ま七秋て、和ふの廊（序）代のくせ給
包ま〳〵そう。中〳〵表かなむめ事やかなか祢ハ

まいうせ給ふ御きをうそ
おかくく乃人のめをつをまて
そらんおてうせむ業給えハそとハ
給ふいとそれのさ表ま
給ふ（例）乃入道夜御こにくす
てなきこえさ変給えハひうてみくもも
めてくもうかうせ給えま遣雨在れ御ハて
傳そてそれもう人〳〵梅〳〵や給ひ宮う。ハ
帥殿の御一服乃十六ま（ろ）そ中納云なりおと
〳〵そよれ中のそうおそのとのも遣〳〵夜乃
あん童名ハ何古君そうはお
ふまくまて、お（を）控寺よあり（て）但馬よまれハ

国立国会図書館　タイトル『大鏡 6巻』 請求記号 WA7-205
ガラス使用

殊[さて]に[の]外[ほか]の人[ひと]の事[こと]をも申[もう]し出[いだ]し給[たま]ふ事[こと]は、
なかりしを、此[この]御[ご]方[かた]の御[ご]事[こと]に付[つき]ては、
いとも〳〵忝[かたじけ]なき御[ご]事[こと]ども、
数[かず]〳〵[〳〵]承[うけたまわ]り給[たま]ひて、
其[その]御[ご]返[へん]事[じ]に

ありてくく足ばきおひて
中納言参給へまもう御
あとやうまきれて夜とも
まとや御まゐぬるとて
く這廻ー給ふ云信給ふ
けうんとてうち給よ中納言殿れ御きあく
給うて隆家ハふ運なる事あれそこら
ようやうまで出るへきさ方ありすとあら
うふ乃給ふふ人くこれくきかりの給ふ人ハあの
ありまを今ハ平つねいうく人くのはう
なりくとかくく足給ひけり。そとしそきなんずやみ
おきさうざうなとおぼしうなり入道殿うちそう

そ出給てそうふハうやうのたまふ迷事作りて
のりなん乃長とうきたくまゐらんとそうやう出給
てうくくとそ足給ひけれきよとそれら
ありあ数へきまとよとそれをくさ
ーをの通はう面うそのあ面くびめけ
給うふ足たれあうで御
御ありくおくまうみーうりて
くやーまえう給ひくり、そ式ア文部
事おきりとをくくとまち給よ一条院はなや
足たりう給ふきハ小御おふのりおひて法
氣久給りおひけ通ハ安乃御事うう作なよ
そせを成ぬ通と初作くれよあくれ乃人ハ人や

国立国会図書館　タイトル『大鏡 6巻』 請求記号 WA7-205
ガラス使用

とうやさ御かくまうしまうされ
給ひくれさて後ぐく給ひて我御家乃到ぐく
のほどもとうちかひて、手をさくとうちね
給へとをれ。よれ人ハ文乃御事ありて、これ殿
御うち志給ふを志給わく、天下ハ一ぁぐ御うち
なんとぞ思ひたまりたる
うへれまひえ教おぢうりくる
れ大事舎乃御神まさうめうち色給人まさ御か
どぞ、ハ孫うりもとなうし
りともぐを思給むと。思ひたりもとろ
。たがちんとれだりたるう
さあろうりう御志くもう前舎乃事ういい

孫王まる孫舎てまのらぬ事形るを。草衣まく
てつまさ給へれで。そみおち
れもう御龍腦の二重織把舟
ありみうさうめう色給人まが。御月乃そと
おくれらひみちういやしく
かようぐうぼく後も色給ひうともや御舟
給てハ御ぢらひえ給え大武れ殿りぐ
きて人てのぞみ乃くろう
給ふうあお舟くをみせんとれだりて、ち後ハ
あうぐやとヤ給ひくれバ三条院時うてみ
ひとをくをやわがしめ宮、御れ事と
なくなう世給御で志ぞうく、ち御方めん伊与守

国立国会図書館　タイトル『大鏡 6巻』 請求記号 WA7-205
ガラス使用

兼資れぬ一のこゝろ也。
そ後一三条院れみ
百八帖巻乃ゐ子の今宰
御幸とゝり奉まひて
給ふるを改よく志給ふと
ゞひたりもり例の大弐十人のかどみくのか
ま給人まとゝうゝこゞ招国てゝ
初う壽(ユゝス)國乃もれ俄よ志の
思(し)るもんゑきたり守
用さもなくて大弐ま弓矢乃
ハねハつゞとおゞ一
あくおくするん也て鎗

国立国会図書館　タイトル『大鏡 6巻』 請求記号 WA7-205

ガラス使用

経補乃君ゐ式ア亟ゐなど世ゐと海ゐと
にようにおひてくるかやうきるく人事を王比神殿ハ
花山院とあるくびく事ゆ人つまをとら
いうふ永なりし事ぞうくわゐなりともも
我門ハえわさらぐとれ作られハ隆家おとてう
海ううまうう作るざらんとアおてうれ日ま社
宮ゐ物揃よ死れ車ふいちもちのハ牛うけて御
寓帽よ亜衣いとゐおざやうふうぞうせおうう
忘びそゐの織をうくはゐ羨まうねいくさ秋
おひて発のうくさよ業野うらせおふ君逝れ
ゐうよゐみうまふいとうせおうまおがやうよ梅みし
ぜおひてくてまくれちふ利う於てまのたま

いとたうゐのみ海きあげて雑多五六十人許う
忘あれうぐりひ海ゐくおいさよ世おて院
ふいさうふうえといわゐ葛鞆くくの法御系
大中重よゐとあくお夜て七八十人許う大か
海石五六人許なう杖ごよ洞院ううちゐ南乃門
けぢううへ小一条のまうく人洞院ううちゐひひ
僧れ門のやうやうらうぐまうけしてれさ事をうう
まあへ物ゐうさまをぐふいうぐハうう宮んい
ぐかうゐもさうぐ海ふとうきう
矢ハまうけさ夜ゐて中納言夜内車一吋許た
ちおてうでのこうぢうハふ門逸ぶで

国立国会図書館　タイトル『大鏡 6巻』 請求記号 WA7-205
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『大鏡 6巻』 請求記号 WA7-205

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『大鏡 6巻』 請求記号 WA7-205

ガラス使用

みごうられしげもてわらう
まの里語人れ物ものいくたまうはるをひよた
とんなり伝ものどあぐさうともとたくめさて
ものげくめけむ称ハ梅たぐり
くりあへまされいよたしいと
ゆしず今乃小野文右大臣殿のれより添ひびお参
路へ里くふなど母の后れ給麓れわしてたびび
いまあてまのつまる路へ里婦ありぐ伝れ村面あり
てんだまのちりいとあしくく伝てとてハ海
うりいくく称でうくてド伝れなり年来そうあさ
事よつまをても外のうちてド伝れ事より添ひびド事
なん伝きど、さ換伝ふとありきかなどい毎事ありを

え申伝うでなんと記海うりはるを今ハかくい海
うりなりくく伝バこれ私てつまをて勅しドへさ
まなんまる大小乃事もド今と思ひれて
安れまをそけぐうぐそ多くらうがうさ方み
あんないドはるのりめど、こまう小乃路へ詞
もりぐうぐそれしあてよさそうおりると
とさくなきいとくなど志
家形う波いとふ役はるりざ
風れれ麓を吹あげたりしかもさやまひとうひれて
ぐれいそでかもいろもたぐひてそらうは
れりすは人ともわりえず事かふ光ふあり

おもうとみてとりあひあつかひ
ものおもひのあんあるれなりけ
うりおひのうりこれ栗田殿は
おもふ殿ごと大御君は御目見えと
はさのごもうはと思へどいとも
明くあくでおもふ殿一条殿乃御賀の試
楽なせうと勧奉らんとて
あやめくうりすさひおへどよ
乃りをれへーてをへきこえさするふ
ありてみだうをそくまいりて諸
基乃よみれおりおひても乃
どふおざるひうあまて御
きんだうの御裳をとうくやをふふ
栗田殿の父をもう殿下の御
あうぬのけしきをありとあれ
事よと見給へどすべてやう
乃中に関白殿乃をもく楽基よの
りひおへらせおふべおのみくさまえたえ
ず追おうう殿おをさうかう
これ君を御膳乃などすべて記さ
れてげうりみーう御ふう殿おひうう楽を御
うう面白く枝夫のれ能もかく
おもうをれ真日の興も勝
ーたりうりの父おとぐはいう
きんだうの御裳をとうくやをふふ
栗田殿の父をもう殿下の御
あうぬのけしきをありとあれ
事よと見給へどすべてやう
乃中に関白殿乃をもく楽基よの
りひおへらせおふべおのみくさまえたえ
ず追おうう殿おをさうかう
これ君を御膳乃などすべて記さ
れてげうりみーう御ふう殿おひうう楽を御
うう面白く枝夫のれ能もかく
おもうをれ真日の興も勝
ーたりうりの父おとぐはいう

国立国会図書館　タイトル『大鏡 6巻』 請求記号 WA7-205
ガラス使用

おもうまゝなる風にたゝくものをれうやう
よ人れため、かさけりくもりおもりゆき
くるよなどはまをかの道さへ小雪んこれ君
人志をうてあ道軒道うしてうれ
みうりうらゆ地されてうれ
二良君ハ今乃左衛門督兼隆ハ大殿のの乃
腹也け左衛門督れ君逝男女あまるおハすうお
理大姫君ハ三条院の三ゆれみ数事れ中務文
ようれきさうさかとよ参(ひこ)名うてまものそ給へ
かどにさは中てれりみ姫走なる
れりすゆ人み栗田殿乃三ゆおれ中将兼綱れ君
其君の際月頃一ゆ人ゆ車ありうゆ

かうう橋(はし)細代(しろ)とりふ
ちよ文どられたま車乃車乃よこさ海乃わとゆう
の形ゆ志さそふえをけ参の形小せられたる
さ海乃興あり一なり和泉式部の君ゆまれ
てけまさ

とをけうむりあ
車も海とにみ梅うえ
そてう紀風流と見てゆ志ゆ人乃ちちなすう
ね祐みて賀茂明神れ行ゆ人ゆとひひ
かゆくゆ志うゆそ使ゆうてやみ母志れ夫ハ
歌とられ給ひみりそう修事ぞう
志願ゆ給りてれさ給びゆふべゆあう

国立国会図書館　タイトル『大鏡 6巻』 請求記号 WA7-205

ガラス使用　挟み込み物

くさぐさあれども後櫻吉今朝
そびてけゆかひさうそのゆふ
花山院なか我もうすかし
ど開白どもゆびら映ふ
兄ふりうたひうぬ事
うぬれ事そきこえ
二百えぬ法ふ参
けたる

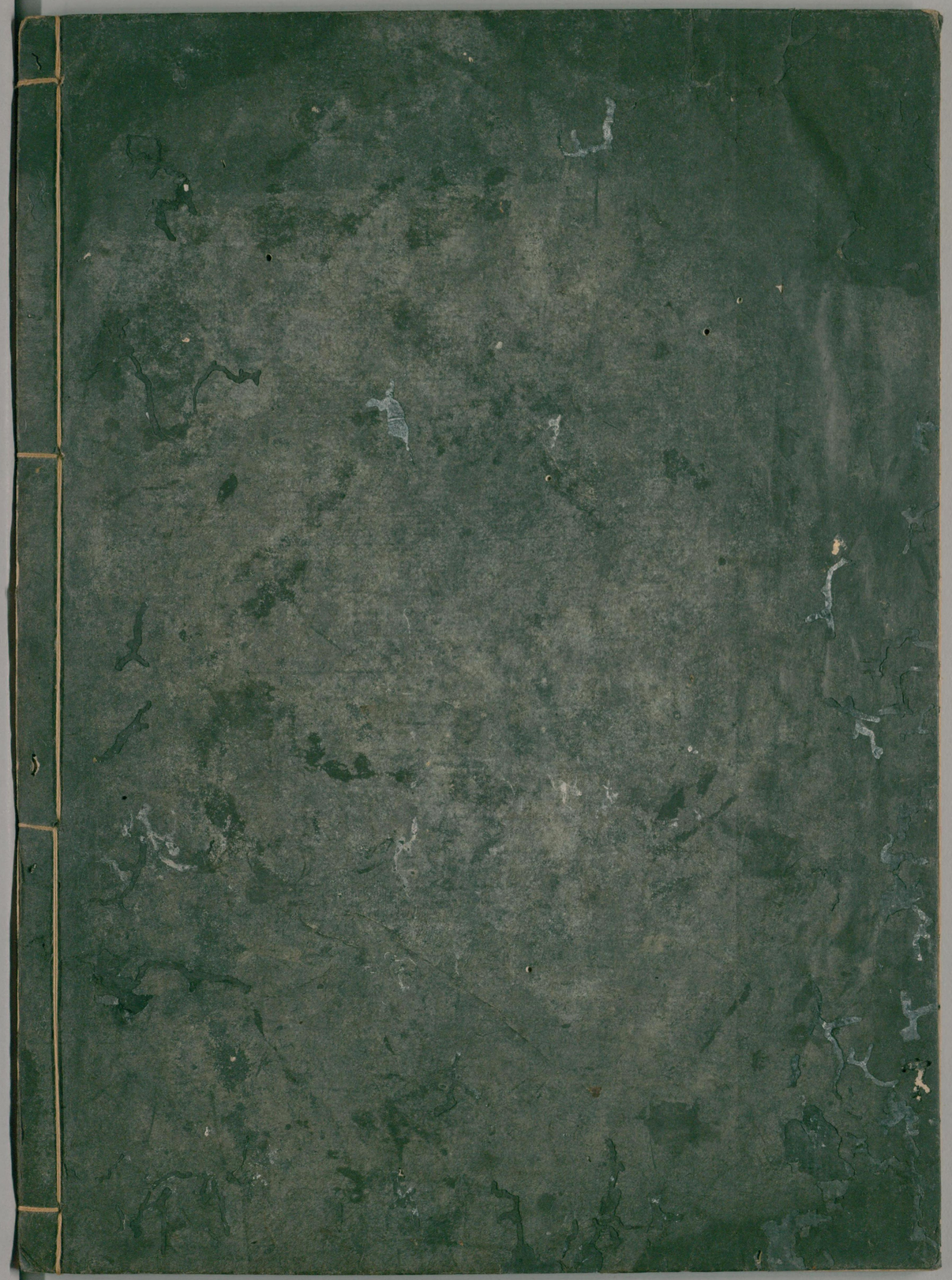
国立国会図書館　タイトル『大鏡 6巻』 請求記号 WA7-205

ガラス使用

国立国会図書館

国立国会図書館　タイトル『大鏡 6巻』 請求記号 WA7-205

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『大鏡 6巻』 請求記号 WA7-205

ガラス使用